

**健康で明るく
うるおいのある
福祉都市**
190億5、300万円

◆健康づくりと医療の充実

保健衛生

- ・基本検診やがん検診、人間ドックなどの疾病予防、検診事業 1億5、827万円
- ・妊産婦検診、10カ月検診、両親教室などの母子保健事業 1、988万円

地域医療

- ・休日夜間急患センターの運営 4、682万円
- ・市立総合病院増改築事業 3、745万円
- ・市立総合病院の医療機器などの整備 1億500万円



保険、年金

- ・国保保険給付費、老人医療費など 116億1、754万円
- ・4歳未満の乳幼児や身体障害者などへの医療費扶助 3億7、948万円

◆福祉の増進

高齢者福祉

- ・介護保険の各種サービスの給付など 33億3、243万円
- ・老人福祉総合エリアの運営 1億754万円
- ・養護老人ホーム「成章園」の運営 1億4、859万円
- ・敬老会、金婚式の経費 3、390万円



地域福祉

- ・福祉団体育成のための補助 2、734万円
- ・児童、母子父子福祉 150万円
- ・釈迦内保育園改築事業 3億2、469万円
- ・保育所などの運営 1億4、061万円
- ・児童手当の扶助

心身障害者(児)福祉

- ・心身障害者などへの扶助 7億8、430万円

**若さと活力に
満ちあふれている
産業都市**
29億7、100万円

◆農林業の振興

農業生産基盤整備

- ・コンポストセンター建設事業 4億5、387万円
- ・農村生活環境整備 6億5、545万円
- ・農業集落排水事業(ミニ下水道) 1、650万円

森林資源の活用と保全

- ・木材需要拡大など

◆商工鉱業の振興

商工業の振興

- ・金融対策の預託金 8億9、000万円

◆観光、物産振興

観光の振興

- ・湯夢湯夢の里の運営 7、196万円

物産の振興

- ・各種団体への補助、物産品の

独立採算が原則。収益と費用の発生を記帳の基準(発生主義)にするほか、資産や負債については、経費と分離して整理し、その経営成績と財政状況を明らかにしています。本市の場合は、病院事業、水道事業、工業用水道事業の3つの企業会計を設置しています。

当初予算 一会計年度(4月1日～翌年3月31日)を通じて定められる基本的な予算のこと。

※補正予算：年度の途中で予算化したもの

市税 市民の皆さんが市に納める税金(市民税・固定資産税・軽自動車税・都市計画税など)

地方交付税 所得税など、国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて配分されるお金

国・県支出金 特定の事務・事業についての財源として、国や県から交付されるお金

市債 大きな事業などを行うために、国や県、金融機関などから借り入れるお金(借金)。一時的に多額の支出を防ぐとともに、次世代の人たちにも公平な負担をお願するもの

使用料・手数料 皆さんが市の施設を利用するときに支払うお金や税務課、市民課などの窓口で支払うお金

総務費 課税・徴収、住民登録、選挙、統計など、市の総括的な